

取組のポイント

- ◆岐阜県下呂市山間部では、古くから五平餅のたれの原料として伝統食材エゴマ（地方名：あぶらえ）の栽培があった。下呂市小坂地域の課題である高齢化、遊休農地、獣害対策として、平成26年に伝統食材のエゴマが健康食材であることや高齢者でも栽培ができることを県農業機関と連携して周知した。これらの活動に賛同した地元の土建業「熊崎組」が異業種参入し主体となって「飛騨小坂あぶらえ生産組合」を設立した。

地区の概要

- ◆ 位置
岐阜県下呂市小坂町



- ◆ 活用した地域資源
エゴマ
- ◆ 事業実施主体
下呂市

- ◆ 主な取組団体等
飛騨小坂あぶらえ生産組合、岐阜県、熊崎組
- ◆ 事業実施期間
H27～H29

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

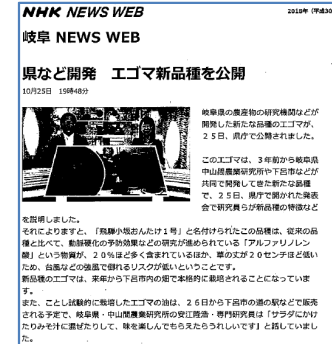
- ◆岐阜県（中山間農業研究所・下呂農林事務所）の協力のもと、高齢者でも栽培できるよう機械化や省力化の技術講習会を実施



【技術講習会の様子】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆各家庭で先祖代々から受け継がれてきたエゴマの種子を集め最も機能性成分が高いものを選抜し品種登録を出願
- ◆栽培から収穫、搾油までの一連の工程をおこなうため、搾油所をオープン



【飛騨小坂おんたけ1号】



【搾油所オープン】

取組の成果

- ◆エゴマの品種登録出願 在来種（H27：取組前）→ 新品種（H30）
- ◆エゴマ生産組合員 28名（H27：取組前）→ 36名（H30）
- ◆エゴマ圃場面積 0.5ha（H27：取組前）→ 約4ha（H30）